

# 利便性・効率性が高い公共交通体系の実現に向け、バス停の新設、ニーズ調査、施設整備、デマンド交通実証実験を進めます



令和8年（2026年）2月20日

東海市記者会見資料

都市計画課  
高齢者支援課

地域公共交通計画に基づき、利便性・効率性が高い公共交通体系の実現に向け、以下の取組を進めます。

## 【「加木屋中ノ池駅南口」バス停の新設】

令和8年（2026年）秋頃に供用開始予定の加木屋中ノ池駅南口駅前広場に新たにバス停を設置し、富木島線、加木屋線のダイヤ・ルートの一部を改正を行います。

## 【公共交通の利用実態や移動ニーズ調査】

循環バス（らんらんバス）の次期ダイヤ・ルート改正や次期地域公共交通計画の策定に向け、循環バス（らんらんバス）の利用実態の把握や循環バス（らんらんバス）を含めた市内公共交通に対するニーズ調査を行います。

### ○ 循環バス（らんらんバス）の利用実態の把握

- ・循環バス（らんらんバス）のバス停毎の乗降客数の把握を行うため、バス8台（前ドア側・後ドア側に1台ずつ）にAIカメラを設置
- ・循環バス（らんらんバス）のOD調査

### ○ 市民ニーズ調査

- ・循環バス（らんらんバス）利用者へのアンケート調査
- ・市民アンケート調査

## 【待合環境の整備】

### ＜上屋・ベンチの設置＞

- ・バス停：上野中学校前（南向き）  
設置場所：東海市しあわせ村第3駐車場敷地内

### ＜ベンチの設置＞

- ・バス停：東海市立中央図書館前〔荒尾線、富木島線〕2基
- 星城大学東〔名和線、富木島線〕2基
- アピタ荒尾店北〔荒尾線〕1基
- 荒尾住宅〔荒尾線〕1基（渡内敬老の家敷地内に設置）
- 計 6基



## 【デマンド交通実証実験】

引き続き、デマンド交通実証実験を国道302号より北の南柴田町、名和町、浅山にお住まいの方を対象に実施します。

- ・実施期間：令和8年（2026年）4月1日～令和9年（2027年）3月31日
- ・運行日時：平日（祝日、年末年始を除く）の午前8時～午後6時
- ・停留所数：154箇所（住宅地停留所58箇所、目的地停留所96箇所）
- ・利用状況：会員登録者数443人、利用人数12.7人/日、乗合率1.24人/区間（令和8年（2026年）1月末現在）



【予算措置】

＜歳入＞バスロケーションシステム経費負担金	30千円		
循環バスグッズ頒布代金	200千円		
＜歳出＞地域公共交通会議負担金	36,065千円	(うちデマンド交通実証実験事業費	23,300千円)
循環バス運行事業	288,300千円	(うち循環バス運行負担金	274,227千円)
循環バス待合環境整備事業	12,263千円		
一般乗合旅客運送運賃等協議会設置事業	18千円		
高齢者循環バス利用促進事業	14,771千円		



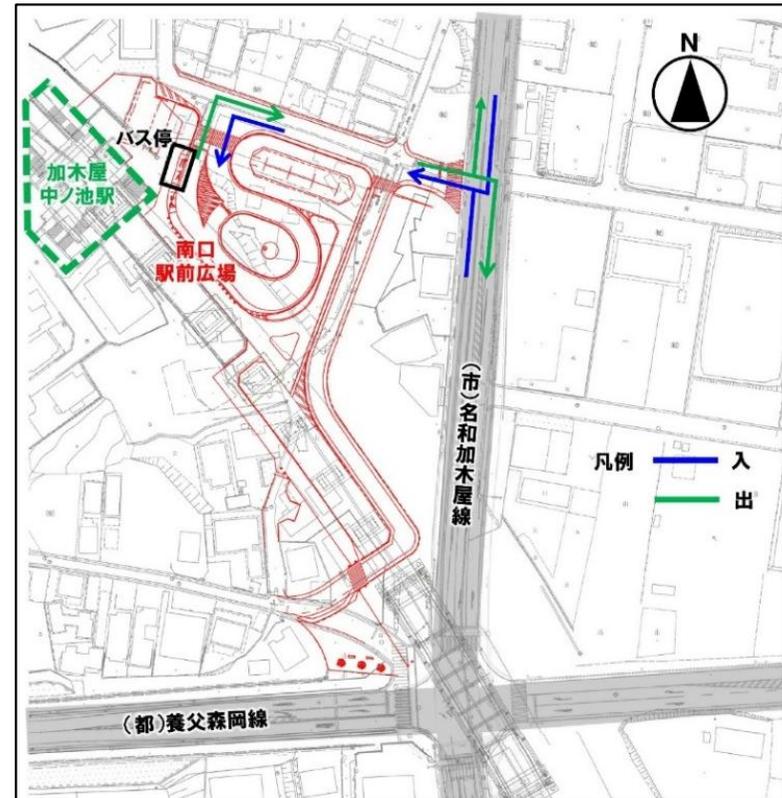
(A Iカメラ：前ドア側イメージ)



(A Iカメラ：後ドア側イメージ)



(A Iカメラ本体)



(加木屋中ノ池駅南口新設バス停)

